



アウトオブバンド管理

この章は、次の項で構成されています。

- [アウトオブバンド管理（OOB）の概要（1 ページ）](#)
- [OOB トポロジ（1 ページ）](#)
- [機能に関する警告（2 ページ）](#)
- [OOB の設定（2 ページ）](#)

アウトオブバンド管理（OOB）の概要

4G に障害が発生した場合に備えてさらに冗長性を確保するため、OOB には 2 台のルータをまとめて 1 本の USB ケーブルで接続する方法が用意されています。これにより、ルータ A の USB ポートをルータ B の USB コンソールに接続してルータ A からルータ B のコンソールポートにアクセスできるため、アウトオブバンド接続を維持できます。

この機能は IOS CLI で実装する必要があります。ユーザは別のルータの USB コンソールに tty 回線 (/dev/ttyUSB) 経由でリバース telnet を実行できる必要があります。

OOB トポロジ

次の図に、2 台の IR1101 ルータ間の物理的な接続を示します。

図 1: トポロジ



上の青い線は、USB 2.0 タイプ A から USB 2.0 ミニ USB タイプ B へのケーブルです。次の設定については、このトポロジを参照してください。

機能に関する警告

各ルータを設定する前に、両方のルータの基本的なシリアル設定を確認します。

```
line con 0
 stopbits 1
 speed 9600
```



(注) IR1101 の古さに応じて、デフォルトのボーレートは 9600 または 115200 になります。

- Plug and Play はサポートされていません。設定前にケーブルを取り付ける必要があります。
- OOB は、USB ポートである async0/2/1 でのみ機能します。Async0/2/0 は IR1101 のシリアルインターフェイスです。
- この機能を終了するには、「Ctrl-Shift-6」、「x」、「disconnect」の順に押します。

OOB の設定

ルータ A とルータ B の例については前の図を参照してください。ルータ A からルータ B のコンソールにアクセスするには、次の手順を実行します。

ルータ A の電源を投入し、次の設定を行います。

```
interface Async0/2/1
 ip address 20.0.0.1 255.0.0.0
```

```
encapsulation relay-line
!
line 0/2/1
transport input all
transport output all
```

回線 51 の速度がルータ B のコンソールと同じであることを確認します。

IR1101-A#**show line**

Tty	Line	Typ	Tx/Rx	A Modem	Roty	AccO	AccI	Uses	Noise	OVERRUNS	Int
*	0	0	CTY	-	-	-	-	4	0	0/0	-
	0/0/0	2	TTY	0/0	-	-	-	0	0	0/0	-
	0/2/0	50	TTY	9600/9600	-	-	-	4	0	0/0	-
	0/2/1	51	TTY	9600/9600	-	-	-	4	0	0/0	-
	74	74	VTY	-	-	-	-	3	0	0/0	-
	75	75	VTY	-	-	-	-	1	0	0/0	-
	76	76	VTY	-	-	-	-	0	0	0/0	-
	77	77	VTY	-	-	-	-	0	0	0/0	-
	78	78	VTY	-	-	-	-	0	0	0/0	-
	79	79	VTY	-	-	-	-	0	0	0/0	-
	80	80	VTY	-	-	-	-	0	0	0/0	-
	81	81	VTY	-	-	-	-	0	0	0/0	-
	82	82	VTY	-	-	-	-	0	0	0/0	-
	83	83	VTY	-	-	-	-	0	0	0/0	-
	84	84	VTY	-	-	-	-	0	0	0/0	-
	85	85	VTY	-	-	-	-	0	0	0/0	-
	86	86	VTY	-	-	-	-	0	0	0/0	-
	87	87	VTY	-	-	-	-	0	0	0/0	-
	88	88	VTY	-	-	-	-	0	0	0/0	-

Line(s) not in async mode -or- with no hardware support:
1, 3-49, 52-73, 89-735

ルータ A で回線 0/2/1 を設定します。

```
IR1101-A#configure term
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
IR1101-A(config)#line 0/2/1
IR1101-A(config-line)#speed 9600
IR1101-A(config-line)#
```

ルータ A の IP (ポート 2051) を介してルータ B に Telnet で接続します。

```
IR1101-A#telnet 20.0.0.1 2051
Trying 20.0.0.1, 2051 ... Open
```

IR1101-B#

IR1101-B# <== to exit, press "Ctrl-Shift-6", then "x", then "disconnect"

```
IR1101-A#disconnect
Closing connection to 20.0.0.1 [confirm]
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。